

# 桑名市総合医療センターニュース

第0037号 平成27年4月発行

## 医師の異動について

医師の異動に伴い、外来診療の変更がございます。受診の際や患者様をご紹介いただく際は、ご確認くださいませよう、お願い致します。

### 【桑名東医療センター】

	診療科	入職 (平成27年4月1日付)	退職 (平成27年3月31日付)
常勤	内科	野田 真理子 (腎臓)	千賀 通晴 (循環器)
		佐藤 徹	小島 昌泰 (循環器)
		村上 弘明	大西 征司
		舘野 晴彦	—
		着本 望音	—
	外科	高橋 直樹	堯天 一亨
	整形外科	浅野 貴裕	矢田 祐基
周産期科	久保 倫子	—	
非常勤	内科	藤田 聡 (循環器・不整脈)	—
	血液内科	景山 裕紀	—
	もの忘れ外来	木田 博隆	—
	産婦人科	—	石川 薫

### 【桑名西医療センター】

	診療科	入職 (平成27年4月1日付)	退職 (平成27年3月31日付)
常勤	外科	井出 正造	—
	脳神経外科	古川 和博	—
非常勤	眼科	伊藤 麻耶里	水谷 貴宏

### 【桑名市総合医療センター 研修医】

上荷 由賀	小倉 愛香
後藤 芙希	小林 達宏
成田 潔	南條 琴
萬濃 春花	宮澤 彩紀
山本 あゆみ	—



私どもの専門とするリウマチ・膠原病に含まれる疾患群は、原因不明で、難病であると以前から言われ続けて来ました。確かに、今から 50 年前には全身性エリテマトーデス (SLE) に罹患された患者様は、5 年間に半分の方が亡くなっていました。しかしながら、現在においては 10 年間で亡くなるのは 1 割以下です。早期診断と、適切な薬剤を用いた早期からの積極的治療法が確立されてきたからです。

一方、関節リウマチは、鎮痛剤で痛みだけ抑えても関節の変形や破壊が進行します。早期から積極的に抗リウマチ剤を服用いただき、日常生活機能が将来的に損なわれないようにすることが重要です。近年、生物学製剤と呼ばれる画期的な治療薬が導入されるようになり、今まで以上に有効な治療成績が期待できるようになって来ました。抗リウマチ剤には重篤な副作用が出るとの報道もあります。確かに専門医が慎重に処方しないと危険な場合もありますが、早期に適切な対応を取れば多くの副作用は治癒可能なことも事実です。当科では、抗リウマチ薬、生物学製剤を含めた抗リウマチ治療に習熟した専門医が治療を担当しています。

治療の有効性や治癒の可能性などまだまだと思われるかも知れませんが、医学は日一日と進歩しております。昨日よりは今日、今日よりは明日と治療法も改善されてきております。気を落とさずに、一緒により良い状態を作っていきましょう。その為には、患者様やご家族の方たちの努力も必要です。積極的にご自分の病気を理解し、治療に取り組むことが重要です。



### 1) リウマチとは？

二つの使われ方があります。広義には骨、軟骨、関節やその周辺の痛みとこわばりを持つ病気の総称として使われます。狭義には関節リウマチを指します。ここでは前者を



「リウマチ性疾患」、後者を「リウマチ」と呼び分けられることが一般的です。リウマチとは症状に共通性があることからまとめられたもので、さまざまな原因によって発病し、おおよそ 100 種類以上の病気が含まれます。

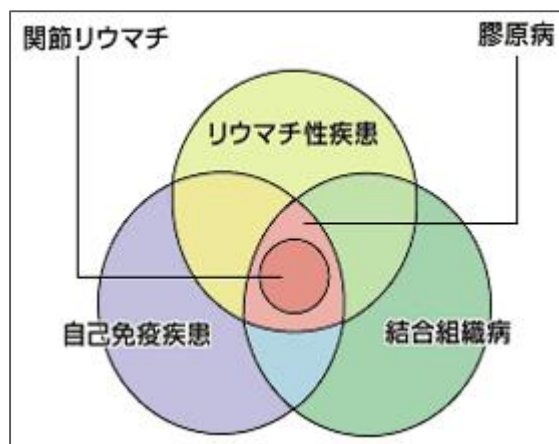
《分類》関節リウマチ、膠原病、変形性関節症、痛風、偽痛風、線維筋痛症、リウマチ性多発筋痛症、強直性脊椎炎、脊椎関節炎などです。



## 2) 膠原病とは？

膠原病は三つの顔を持っています。一つ目は、「関節の痛み」を訴えるリウマチ性疾患です。二つ目は、膠原病では自分のからだに対して強い免疫反応が起こります（自己免疫疾患）。三つ目は、膠原病が血管や結合組織という組織に起こる病気であるということです。ただ最近では膠原病という名称はあまり使われなくなり、それにかわって全身性結合組織病という名称が使われることが多くなっています。

《分類》膠原病に属する疾患としては、リウマチ熱、関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、強皮症、多発性筋炎、皮膚筋炎、結節性多発動脈炎、シェーグレン症候群、ベーチェット病などがあり、数十種類もあります。



## 3) 当院の膠原病リウマチ内科の特徴

リウマチ・膠原病疾患においては、肺、腎臓、脳神経系、心臓、血管など全身の様々な臓器が障害されてくるような、極めて重篤な病態を来すことがあります。このような状態に対して、当科では病態に応じた積極的な治療を行い、他の専門診療科とも連携を取り合うことで、良好な治療成績をあげております。

また、膠原病リウマチ患者様、ご家族が病気に対する正しい知識を持って、医療側と連携、協働して治療やケアを積極的に行って頂くために、患者さんの会（全国膠原病友の会、日本リウマチ友の会、日本線維筋痛症友の会、日本強直性脊椎炎(AS)患者友の会）などの顧問、役員として協力しています。また、線維筋痛症については、10年前から厚生労働省の線維筋痛症研究班のメンバーとして、2012年から研究代表者として調査研究を行い、情報を発信しています。さらに、地域、全国のマスメディアに情報提供（中日新聞医療欄、読売新聞全国版医療欄、NHK番組ためしてガッテンでの放映など）も積極的に行っており、全国型の専門医療機関と位置づけられています。



## 4) 膠原病リウマチ内科受診の必要な患者様

関節の痛みや腫れ、体のだるさ、微熱、目や口の渇きなどの症状が1ヶ月以上続いている方、また、流産を繰り返す方も膠原病に罹患している場合がありますので、一度当科外来を受診されることをお勧めします。他院に通院している患者さんは、重複した検査などを避ける意味でも、紹介状をご持参していただければと診療がスムーズに行えます。また、現在通院されている病院・医院から当院「地域医療室」を通して新患外来の予約をとられることをお勧めします。

## 東医療センター

# もの忘れ外来を開設します

平成27年4月より東医療センターにて『もの忘れ外来』を開始します。

もの忘れの症状は誰もが経験することですが、この中には加齢に伴う年齢相応のものからアルツハイマー認知症など病気により出現するものまであります。もの忘れ外来はその症状が年齢相応のものなのか、病気が原因のものなのかを診断し、治療する外来です。

最近、ものの名前が思い出せない、何度も同じことを言ったり、尋ねたりするなどもの忘れの症状が気になる方がいらっしゃいましたら、ご相談ください。

○外来日：毎週木曜日 9：00～12：00

**\*完全予約診療**

○担当医師：木田 博隆（三重大学附属病院神経内科 助教）

\*かかりつけ医からの紹介状をお持ちください。

## 西医療センター・南医療センターの『もの忘れ外来』の紹介

### ○南医療センター

- ・外来日：毎月第3木曜日 午前9：00～12：00  
午後1：00～3：00

**\*予約診療／紹介状がない方も受診できます**

- ・担当医師：藤澤 道子（京都大学東南アジア研究所）

### ○西医療センター

- ・・・通常の外来診療の範囲内で認知症（もの忘れ）の診断・検査を実施します。その後の治療（フォローアップ）は認知症サポート医に紹介します。

- ・外来日：毎週水曜日 午後2：00～3：30（受付時間）

- ・担当医師：村松 正俊（脳神経外科部長） **\*予約診療**

\*かかりつけ医からの紹介状をお持ちください。

**ご予約やお問合せは各医療センターへお電話ください。**

# おしゃべりサロン in 桑名を開催しました



平成 27 年 3 月 18 日に、『がん患者と家族のおしゃべりサロン in 桑名』を開催しました。今回も、桑名市総合医療センターより医師や看護師をはじめ作業療法士、医療ソーシャルワーカーがスタッフとして参加しました。

2 回目の開催ですが、リピーターの方もおられ、このサロンの開催を楽しみにしてくださっていました。サロンに参加される方々が、明るい表情になって帰られるのを目の当たりにすると、このサロンを開催し続けていく意味を実感します。サロンは『病院では語れない気持ちを安心して語れる場』にするため、あえて院外で開催しています。私たち医療関係者は、病院ではない場所でこそ語られる気持ちがあることに気づき、今後の院内での関わりに活かしていきたいと思いました。これからもサロンが、がん患者様とご家族様の『心の荷物を降ろせる場所』として、『安心できる場づくり』を心掛けていきたいと思えます。



平成 26 年度は不定期開催でしたが、平成 27 年度より年 4 回の定期開催をしていくことになりました。会場はいままでよりアクセスのよい場所を検討しています。また、就労しているがん患者様やご家族様が参加しやすいように、週末の開催も企画中です。詳細につきましては、決まり次第随時お知らせします。



# 西医療センター緩和勉強会を開催しました

平成 27 年 3 月 26 日に桑名西医療センター 3 階図書室で緩和ケア勉強会を開催しました。院内のスタッフだけでなく、桑名市内の病院の医師、看護師や地域の薬剤師、訪問看護師、看護学生、総勢 60 名が参加されました。緩和ケアチームの野村薬剤部長が司会し、増田亨医師が癌生疼痛の評価と治療について講義しました。講義は日本緩和医療学会の PEACE プロジェクトのスライドを用いて行われました。



痛みの種類と程度の評価の仕方、訴えの聴き方、薬剤治療のアルゴリズムを理解し、オピオイド（麻薬）の上手な使い方を勉強し、最後に薬剤治療以外の治療も勉強しました。フロアからフェンタニールの貼付剤の皮膚トラブルについて質問があり、当院での経験を答えました。院内だけでなく、桑名市内を視野にいれて勉強会を開く事が桑名地区の緩和ケアのレベルアップに繋がっていけば良いと考えました。



# 三重卒後研修医学会で研修医の今鉄男先生が 最優秀賞を受賞しました

この度、平成27年2月21日に行われた第11回三重卒後研修医学会の口頭発表において、最優秀賞を頂戴しました。三重卒後研修医学会とは三重県内の病院の研修医が多数参加し、日々の診療で経験した症例や臨床研究などの発表を行い、初期研修医が互いに研鑽し合う学会です。私は桑名東医療センター外科のローテーション中に経験した「胆管内発育を呈した転移性大腸癌の一例」を報告致しました。医師として学会という改まった場での発表は初めての経験でした。そのため、抄録、発表スライドの作成、原稿の推敲は困難を極めました。しかし、ご多忙の中、発表の準備のための時間を割いてくださった鈴木秀郎先生を始めとした指導医の皆様からの手厚いご指導のお陰で、無事発表を終えることができました。今回の思いがけない受賞を励みとして、早く皆さまから信頼して頂ける医師になるべく、日々謙虚に努力して参ります。



研修医 今 鉄男

～指導医 東医療センター外科 鈴木秀郎医師より～

今先生は、外科研修中、臨床的なことはもとより、病理学的なことにもかなりの興味を示していました。今回発表した症例は転移性肝癌の1例で日常の診療上多くみられる疾患でしたが、めずらしい進展様式だったので、彼に発表してもらった症例としてぴったりなものと判断しました。予想どおり、今先生は非常に興味を示し、いつものエネルギーな勢いで症例発表をまとめました。摘出標本や病理組織標本をみて感激したり、またそこから画像所見に戻って考察するなど彼の探求心が発表内容に表れたと感じています。また、当日の発表もはきはきしていて、質問にもりっぱに答えていました。今回の受賞は今先生の努力の賜物と思っています。これからも頑張ってください。

三重研修医学会とはMMC(Mie medical Complex)によって開催される医学研究会であり、これは三重県で研修する初期臨床研修医のために発表の機会をつくり、三重県中の研修医が一堂に会してお互いに交流するとともに、自らの力を確認する場を作るという目的で作られたものです。過去、当院でも何人かの研修医の先生たちがこの研修医学会で表彰されていますが、今年は1年目研修医の今鉄男先生が外科の鈴木秀郎先生の指導を受けて発表した「胆管内発育を呈した転移性肝癌の一例」が、この会において最優秀賞を受賞しました。最近、当院でも特にこのような受賞の機会が増えており、これも研修医と指導医が一丸となって研修に勤しんでいる賜物と考えています。

今後ますます当院の研修が充実して、その中で芽生えた若い力が桑名市総合医療センターの活力となっていくことを期待しています。

桑名市総合医療センター研修管理委員会 委員長 久留宮 隆

平成 26 年度

## 第 4 回研修医症例検討会および臨床研修医修了式

平成 26 年 3 月 19 日に桑名シティホテルにて平成 26 年度第 4 回研修医症例検討会および臨床研修医修了式を開催致しました。

研修医症例検討会では、東医療センター、西医療センターの症例をそれぞれ 1 例発表致しました。

『短期間で再燃を繰り返した突発性心膜炎の一例』 村上 弘明（2 年目研修医）

『抑肝散にて改善した術後せん妄の一例』 下村 麻里（1 年目研修医）

症例発表後に研修医修了式を行い、今年度は東医療センターの研修医 6 名と西医療センターの研修医 1 名の計 7 名が研修を終えました。研修を終えた研修医のうち 4 名は東医療センターにて引き続き勤務致します。2 年間大変お世話になり、ありがとうございました。

4 月からは、9 名の研修医が新たに研修を開始致します。

今後とも、よろしくお願い致します。



イベントの  
お知らせ

## 5 月 10 日～16 日は看護週間です



毎年、ナイチンゲールの誕生日である 5 月 12 日を“看護の日”、5 月 12 日を含む 1 週間を“看護週間”といいます。看護週間は、看護の心、ケアの心、助け合いの心を、老若男女を問わず誰もが育むきっかけとなるように設定されました。当法人では、看護週間のイベントを開催致します。

### < 桑名東医療センター >

5 月 15 日（金）  
13:00～16:00（総合受付前ホール）  
血圧測定、体脂肪測定、  
健康相談など  
その他、楽しい企画を準備中です。

### < 桑名西医療センター >

5 月 12 日（火） 生け花などの展示  
～15 日（金）  
5 月 15 日（金）  
10:00～12:00（外来棟 1 階）  
健康相談・介護用品の展示など  
15:00～16:00（外来棟 2 階）  
体操、演奏など

♪♪ご来場をお待ちしております。♪♪



地方独立行政法人桑名市総合医療センター

桑名東医療センター ・ 桑名西医療センター ・ 桑名南医療センター

**桑名市総合医療センター**

<基本理念> 最良の医療を提供し、地域の皆さまから信頼され必要とされる病院を目指します。

- <基本方針>
- ① 患者さまを中心に考え、真心・思いやり（忠恕）の医療を提供します。
  - ② 医療の水準と質の向上に努め、安全性を確保します。
  - ③ 地域の皆さまに安心していただける中核病院としての責任を永続的にはたします。
  - ④ 患者さまおよび職員にとって魅力ある病院をつくります。

**各種教室のご案内**

受診されていない方も、興味のある方はどなたでもご参加ください。予約制の教室は、定員に達し次第、締め切らせていただきます。

**<桑名西医療センター>**

\*予約制。ご希望の方は☎0594-22-7111へ。  
\*当日は外来棟3階図書室へお越しください。

**糖尿病教室**

日 時：4月16日（木）12:30~14:30  
（15分前までにお越しください）  
テーマ：糖尿病ってどんな病気？  
～糖尿病の基本について～  
参加費：800円（昼食代込み）

**減塩教室**

☆3回シリーズで減塩の基本から応用まで説明します。3回シリーズですが、各会での参加でも減塩について学べる内容にしています  
日 時：5月12日（火）12:30~14:00  
（10分前までにお越しください）  
テーマ：減塩の基本②～減塩寿司を食べながら～  
参加費：1500円（お寿司代込み）

**肝臓病教室**

日 時：7月3日（金）13:00~14:00  
（10分前までにお越しください）  
テーマ：アルコールと肝臓病  
参加費：100円（資料代）※食事は付きません。

直近は、  
4月3日  
開催です

**<桑名東医療センター>**

\*予約制。予約窓口：産婦人科外来（3階）  
☎0594-22-3709（直通）

**★妊婦さんのための教室★**

○対象：妊娠 15週以降の正常な妊娠経過の方  
（必ず医師の許可を受け自己責任のうえご参加ください。）\*他院の方も参加できます。  
○参加費：700円

**マタニティ・ヨガ**

日時：第2・4木曜日  
13:30~15:30

**マタニティ・  
フィットネス**

日時：毎週金曜日  
11:00~12:00

**★産後ママのための教室★**

○対象：産後のママ（産後6週から2歳位まで）  
○参加費：700円 \*他院の方も参加できます。

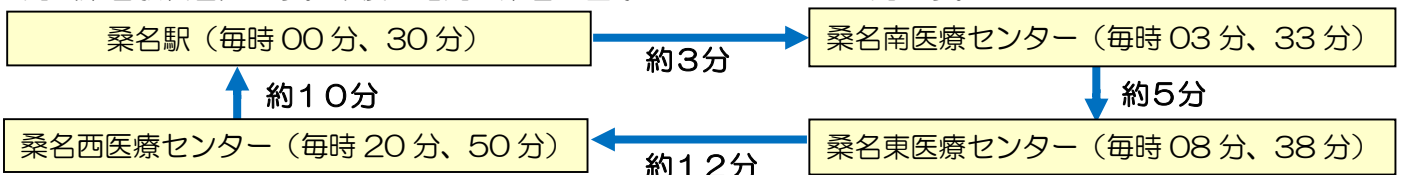
**ママヨガ**

日時：毎週火曜日 11:00~12:00

**◆シャトルバスをご利用ください◆**

\*桑名駅と3病院の間を循環しています。

\*始発は桑名駅 8:00 発、最終は桑名駅 16:00 発（桑名西医療センター終着）  
\*午前最終は桑名駅 11:30 発、南医療センター11:33 発、東医療センター11:38 発、西医療センター11:50 発（桑名駅終着）です。午後の始発は桑名西医療センター12:50 発です。



**地方独立行政法人 桑名市総合医療センター**



**桑名東医療センター（旧山本総合病院）**

住所 三重県桑名市寿町三丁目11番地  
電話 0594-22-1211（代表）  
<地域医療室> 電話 0594-22-2110  
FAX 0594-22-2166



**桑名西医療センター（旧桑名市民病院）**

住所 三重県桑名市北別所416番地1  
電話 0594-22-7111（代表）  
<地域医療連携室> 電話 0594-22-7208  
FAX 0594-24-1581



**桑名南医療センター（旧桑名市民病院分院）**

住所 三重県桑名市中央町一丁目32番地1  
電話 0594-22-0650（代表）  
<地域連携室> 電話 0594-82-6889  
FAX 0594-22-5771



【法人事務局】住所 三重県桑名市寿町三丁目11番地  
電話 0594-22-1211（桑名東医療センター代表）

